



『村に立つ教育 - 佐渡の僻村が挑んだ  
「村を育てる学びの共同体」の創造』

知本康悟・著

教育を軸にした地域づくりが全国で広がっている。  
そこで島を見渡すと、佐渡島に豊かな事例がみつかる。  
1930年代から敗戦をはさんだ1950年代にかけて  
佐渡島の旧羽茂村では村をあげて学校がつくられた。  
若い教師を人材育成のために本土の学校へ送り出す  
内地留学制度や、母親が教養を高める母親学級など、  
子が学ぶだけではない「村を育てる学びの共同体」には、  
どの時代にも通ずる、学びと地域づくりの根幹がある。

(本の泉社／税込2,200円)

「ritokei 2024 SPRING No.45」  
(離島経済新聞社、4月25日発行)